

朱雀門・東院庭園の復原事業



東院庭園

復原した東院庭園を東南方向から望む。洲浜でつくられた浅い池、池に臨む建物と橋、周囲の植栽など、奈良時代後半期の宴遊空間が再現された。本文71-72頁参照（撮影／杉本和樹）



朱雀門

復原に関する直接資料は、発掘調査によって明らかとなった基壇を示す地業、礎石の一部、柱位置と平面規模を知る礎石掘付痕、屋根の瓦などである。これらの事実をふまえ、現存する古代建築、文献史料を参考に、建築史研究の成果や文化財修復で得た知見により復原。1989年着手し、1997年冬に完成した。

本文68頁参照（撮影／田幹雄）

漢長安城桂宮2号宮殿の調査

基壇北方の調査状況

庭院1、2、3版築壁1が見える。左側は正殿の基壇で、右側には北方の付属施設がさらに続いていく。(東から)

本文4-6頁参照 (撮影/牛嶋茂)

地下室3全景

床に敷いたGの様子が良くわかる。(北から)

長安城の宮殿では、地下室は未央宮椒房殿

とこの桂宮2号宮殿だけで見つまっている。

本文4-6頁参照 (撮影/牛嶋茂)

基壇東方の卵石散水(北東から)

散水のコーナーには細長い卵石で目地をつくり、周囲には文様埴を敷いている。

本文4-6頁参照 (撮影/牛嶋茂)